



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



鹿屋市認定農業者 連絡協議会を設立

7月2日、市農業研修センターで「鹿屋市認定農業者連絡協議会設立総代会」が行われました。

これは、合併後も各地域別に活動していた認定農業者の組織が一体となって活動することで、効率的かつ安定的な経営改善を図ることを目的に設立したものです。

今回の設立により、同協議会の認定農業者数は約630経営体となります。



市産の木材使用に 関する覚書を締結

7月4日、市役所で「鹿屋市産木材の使用に関する覚書」の調印が行われました。この覚書は、鹿屋市産木材の使用を推進し地場産業の発展及び地元雇用の確保を図るため、市と鹿屋市地域産材利用促進協議会が公共工事において地元産木材の使用を促進することを決めたもの。今回の締結により、市内の森林整備や間伐材の利用促進も期待できます。



五輪で練習の成果を 出し切れ!!

7月12日、鹿屋体育大学からロンドンオリンピックに出場する前田佳世乃選手（自転車）、萩原麻由子選手（自転車）、高桑健選手（水泳）に対して、鹿屋市から激励金が贈られました。

嶋田鹿屋市長は「五輪でしっかりと練習の成果を出して、自分の夢を叶え、そして鹿屋市民の夢を叶えてください」と激励し同大学長へ手渡しました。



社会を明るくする運動 を呼びかける

7月2日、犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更正について理解を深める「社会を明るくする運動」の保護司会鹿屋支部・鹿屋市更生保護女性会のメンバーが市役所を訪れました。

同メンバーは法務大臣及び県知事のメッセージを鹿屋市長に伝達した後、市内の大型スーパー等で啓発活動を行い、非行防止への理解と協力を呼びかけました。



車椅子を寄贈

7月6日、鹿児島県電気工事業工業組合青年部協議会から鹿屋市に車椅子1台が寄贈されました。

これは、同協議会の各支部が浄財を募り、協議会開催地である鹿屋市に寄贈したものです。

徳留保健福祉部長が「市の福祉向上に使用させていただきます」と謝辞を述べました。寄贈された車椅子は、庁舎内に配備される予定です。



県環境衛生改善模範 地区県知事表彰を受賞

7月2日、「鹿児島県環境衛生改善模範地区県知事表彰」を受賞した「笠之原町考える人の会」のメンバーが市役所を表敬訪問しました。同会のごみステーションでのごみの分別指導や、町内での清掃活動への取り組みが高く評価され受賞したものです。同会代表の田中満江さんは「会員72人、みんなで頑張ってもらった賞」と受賞の感想を話してくれました。